令和５年度　　**音楽Ⅱ**　　１１　新潟翠江高等学校（通信制）

履修区分	単位数	添削回数	最低出席時数	試験回数
選択	2	6	8	0

教　科　書	学習書・副教材等
ＭＯＵＳＡ（ムーサ）２（教育芸術社）	学習書：音楽通論（教育芸術社） 副教材：音楽の鑑賞資料と基礎学習（教育芸術社）

学　習　目　標

・音楽の諸活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、個性豊かな表現の能力と主体的な鑑賞の能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深める。

学　習　内　容

1. 音程と音階（音楽理論）…レポート1
2. 歌曲（「からたちの花」「夏は来ぬ」を中心に日本語の歌曲についての学習）…レポート2
3. ギター（基本的な奏法の知識と実習）…レポート3
4. 創作（音による自己表現）…レポート4
5. 世界の音楽（諸民族の音楽とそこから誕生したポピュラー音楽についての学習）…レポート5
6. 音楽史③（ロマン派の音楽を中心に基本的知識の学習と鑑賞）…レポート6

学　習　方　法

《レポートの作成、提出、添削》
　報告課題（レポート）の順に従って、各自が課題のねらい、趣旨を理解して解答する。提出されたレポートは担当者からの添削後に返送される。添削の趣旨を次回の学習(レポート作成)に活かす。
《授業について》
　各レポートのねらいや、レポート作成のための考え方を説明する。また、レポートの内容に関する曲の鑑賞や、表現活動など、実際の音に触れる機会をもつようにする。

評　価　の　観　点

Ⅰ.知識・技能	Ⅱ.思考・判断・表現	Ⅲ.主体的に取り組む態度
音楽の構成要素を理解し、その働きを感じ、理解や感じたことを表現できる技術を身に付ける。	音楽作品、作曲家、演奏家、作詞家、楽器、奏法、音楽史など音楽の諸分野について理解を進め、それらを生かして自己の音楽表現に反映できる。	音楽の幅広い活動に関心を持ち、主体的に課題へ取り組むことができる。生涯に渡って音楽を愛好する心情を育むとともに感性を高める。

　提出されたレポートを、その内容に関する基本的な知識や考え方が理解できているか、扱った作品に対して関心を持ち理解を進め、自分の考えや感じたことを表すことができたか、また、取り組みに対しての意欲などを総合的にとらえ評価する。

担　当　者　よ　り　一　言

1. 音楽Ⅱは、音楽Ⅰの内容をふまえて更に発展させたものです。作品へのより深い理解、演奏技術の向上を目指しましょう。
2. 授業（スクーリング）は、提出するためのレポートを作成する場面ではなく、各自が自宅で取り組むためのヒントを提示する機会です。授業の内容、教科書、学習書などをたくさん活用してレポートを作成するようにしてください。
3. レポートに記入に当たっては、問題の指定を守り、はっきりとした字で丁寧に書くようにしましょう。特に音符等、楽譜を記入する時には注意して、正確に書くよう心がけてください。
4. 授業では、実際の音に触れる機会をなるべく多くもつようにします。実際の音に触れることでわかることが非常に多いため、授業でもその他の機会でも、音楽に触れることを大切にしてください。